

# 第1回ワークショップでの主な質問に対する回答

**Q1** 4つの施設を対象とした理由は？

**A1** 柿木図書館と四宮保育園・ゆうゆう四宮館の建物は、築年数がそれぞれ60年、59年と老朽化が進んでいることから検討の対象としました。四宮区民集会所の築年数は40年ですが、路地状敷地であり、今後、現在地での改築ができないため、隣接の四宮保育園・ゆうゆう四宮館と併せて対象としています。

**Q2** ワークショップ以外で意見を聞く場はあるのか？（アンケート・オープンハウス・子どもの意見）

**A2** 第2回のワークショップでは、第1回のワークショップ後に実施した各施設の利用者等へのアンケート結果なども踏まえながら、グループワークを行いました。

また、令和8(2026)年度には、ワークショップで作成した更新方法（たたき台）に関するオープンハウスのほか、子どもたちへの意見聴取を実施するなど、ワークショップ参加者以外の意見も聞きながら検討を進めていく予定です。



オープンハウスのイメージ  
(旧杉並中継所の跡地活用に関する取組：令和7年10月)

**Q3** ハードのみの議論なのか？ソフト面も大事！

**A3** 施設の更新に当たって、建物などのハード部分に限らず、運用面などのソフト部分も併せて検討することは区としても重要であると考えており、今回のワークショップでは、そういった視点を持ちながら参加者の皆さんと一緒に検討していきます。

## 対象施設でのアンケート等にご協力いただいた皆さまへ

令和7年9～10月、対象施設においてアンケート及び意見交換会を実施しました。アンケート等のご意見については、“取組への期待”を作成するに当たって参考にするとともに、ワークショップの資料として参加者と共有しました。

アンケート等にご協力いただきまして、ありがとうございました。



次号は、第3回ワークショップ（令和8年1月24日予定）後に発行する予定です。

■発行 杉並区政策経営部企画課  
施設マネジメント担当  
☎03-5307-0348

# ワークショップニュース

## 柿木図書館等の更新について

老朽化が進んでいる柿木図書館やその周辺施設をどのように更新していくかについて、区民の皆さんと共に考えるため、ワークショップを開催しています。

今回は、11月1日に開催した第2回のワークショップの様子をお伝えします。

ワークショップで配布した資料等は、区ホームページ（右2次元コード）に掲載しています。



### ■ 対象施設

四宮区民集会所

四宮保育園・  
ゆうゆう四宮館



### ■ ワークショップの日程（予定）等

第1回  
(8/31)  
対象施設を知ろう

第2回  
(11/1)  
課題解決に向けた取組を考えよう

第3回  
(1/24)  
更新方法（たたき台）について検討しよう

第4回  
(3/28)  
検討を深め、複数の更新方法（たたき台）を比較してみよう

対象施設の課題等を整理し、複数の更新方法（たたき台）を作成！

## 第2回の主な内容

### STEP 1 区からの情報提供

- 第1回での主な質問に対する回答
- 区が整理した“取組への期待”的説明

### STEP 2 グループワーク①

- “取組への期待”を整理しよう



### STEP 3 グループワーク②

- “取組への期待”を達成するための具体的なアイデアを考えよう

中面で詳しくご紹介します

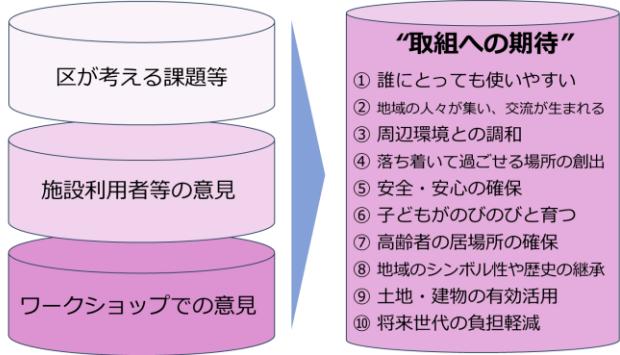
# 課題解決に向けた取組を考えよう

STEP 1

## 区からの情報提供

～区が整理した“取組への期待”的説明～

第1回ワークショップでのご意見や施設利用者等のご意見、区が考える課題等を踏まえて、今後作成する複数の更新方法（たたき台）を比較する際の視点となる“取組への期待”を整理しました。



STEP 2

## グループワーク①

～“取組への期待”を整理しよう～

“取組への期待”に追加したい項目等について意見交換しました。

主なご意見	関連する “取組への期待”
若者や子どものいない世帯はターゲットにされにくいので、「誰にとっても」や「地域の人々」といったことを考える場合は注意が必要。	①②
わいわい集まる場所と落ち着ける場所のバランスが大切である。	②④
子ども限定ではなく、親子で過ごせる場所があると親子がのびのび育つ。“取組への期待”には「親」の要素も加えてほしい。	⑥
高齢者の居場所といつても様々な視点があるので、どういうものが望まれているかを具体的に考えないと比較が難しいのではないか。	⑦
四宮区民会所における町会の活動場所としての機能を維持するために、“取組への期待”に「地域活動の拠点の維持」を加えたい。	追加

STEP 3

## グループワーク②

～“取組への期待”を達成するための具体的なアイデアを考えよう～

施設の配置や複合化のほか、どんな部屋や設備があったら良いかなどハード面に関することや、運営などソフト面に関するアイデアを出し合いました。

主なご意見	達成できる “取組への期待”
全ての施設を現在の場所で更新することが、地域のシンボリ性や歴史の継承の観点から大きな意味がある。	③⑧
図書館で落ち着いて、静かに過ごしたい人もいれば、子どもを連れて、遊ばせながら利用したい人もいる。お互いに気持ちよく利用できるよう、心理的な安全性の確保が必要だ。	①④⑤ ⑥
図書館には、本を読んだり勉強するだけではなく、イベントを行ったり交流できるスペースもあると良い。	②
保育園には、ホールや園庭などのスペースを十分に確保できると良い。	⑥
現在のゆうゆう館で見られる利用者と職員の親しい関係性を残すことが大事。	④⑦
区民会所とゆうゆう館を一体化（集約）することで、広いフリー スペースを確保できる。	①⑨
コミュニティふらっとを整備する場合、井草地区区民センターと近すぎないほうが良い。	③
区民会所には、グループでなくとも個人で気軽に利用できるエリアがあると良い。	①②④
図書館の利用者が会議をしたり、自由に利用できる場所があると良いので、図書館と集会施設を一体化してはどうか。	①④⑨
集会施設と図書館は役割が異なるので、併設は馴染まないと思う。	①④
各施設に屋外のスペースがあると、防災や交流などの目的に利用できる。	②⑤
将来の社会状況によって、他の用途にも転用できる施設を整備すべきではないか。	⑨⑩

